

bizhub C3100P

ユーザーズガイド 設定キーの説明



もくじ

1 本機の各種設定をする

- 1.1 [設定メニュー] を表示する 1-2
- 1.2 [管理者設定] を表示する 1-3

2 [用紙メニュー]

- [給紙トレイ] 2-2
- [トレイマッピング] 2-2
- [両面] 2-2
- [印刷枚数] 2-3
- [部単位印刷] 2-3
- [開き方向／とじ方向] 2-3
- [印刷の向き] 2-3
- [小さめ印刷] 2-3
- [TIFF 画像用紙設定] 2-3

3 [レポート出力]

- [設定リスト] 3-2
- [統計ページ] 3-2
- [フォントリスト] 3-2
- [HDD ディレクトリーリスト] 3-2
- [カウンターリスト] 3-2

4 [環境設定]

- [言語切替え] 4-2
- [単位系設定] 4-2
- [給紙トレイ] 4-2
- [OOXML 印刷設定] 4-2

5 [管理者設定]

- 5.1 [環境設定] 5-2
 - 5.1.1 [エミュレーション] 5-2
 - [優先エミュレーション] 5-2
 - [ポストスクリプト] 5-2
 - [PCL] 5-3
 - [XPS] 5-3
 - [レイアウト - ページ割付け] 5-3
 - [バーコードフォント設定] 5-4
 - 5.1.2 [用紙設定] 5-5
 - 5.1.3 [モノクロページ] 5-5
 - 5.1.4 [スタートページ] 5-5
 - 5.1.5 [自動継続] 5-5
 - 5.1.6 [保存ジョブタイムアウト] 5-6
 - 5.1.7 [電源 / パワーセーブ設定] 5-6
 - 5.1.8 [ウィークリータイマー設定] 5-6
 - 5.1.9 [セキュリティ設定] 5-7
 - [管理者パスワード] 5-7
 - [セキュリティ詳細] 5-7
 - [HDD 管理設定] 5-8
 - [HDD 暗号化] 5-8
 - 5.1.10 [日付 / 時刻設定] 5-8
 - 5.1.11 [サマータイム設定] 5-9

5.1.12	[イニシャライズ]	5-9
5.1.13	[ワーニング検出]	5-9
5.1.14	[メニュータイムアウト]	5-9
5.1.15	[リスト/カウンター]	5-9
5.2	[品質メニュー]	5-10
	[カラーモード]	5-10
	[明度]	5-10
	[ハーフトーン]	5-10
	[エッジ強調]	5-10
	[エッジ強度]	5-10
	[エコノミー印刷]	5-10
	[PCL 印刷設定]	5-11
	[PS 印刷設定]	5-11
	[階調補正]	5-12
	[色分解]	5-12
5.3	[エキスパート調整]	5-13
5.3.1	[印刷メニュー]	5-13
5.3.2	[調整]	5-13
5.3.3	[イーサネット]	5-14
	[TCP/IP]	5-14
	[SPEED/DUPLEX]	5-15
	[IEEE802.1X]	5-15
	[AirPrint 設定]	5-16
	[拡張ネットワーク設定]	5-16
5.3.4	[文書印刷]	5-19
5.3.5	[管理者発信]	5-19
5.3.6	[細線調整]	5-19
5.3.7	[モノクロ画像調整]	5-19
5.4	[課金設定]	5-20
5.4.1	[ライセンス管理]	5-20
	[リクエストコード発行]	5-20
	[有効化]	5-20
5.5	[ライフ]	5-21
5.5.1	[交換]	5-21

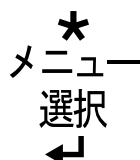


本機の各種設定をする

1 本機の各種設定をする

1.1 「設定メニュー」を表示する

操作パネルのメニュー / 選択を押すと「設定メニュー」を表示します。



「設定メニュー」では、HDD や USB メモリー内のファイルの印刷、本機の各種設定などができます。

設定	説明
〔ID プリント〕	<p>プリンタードライバーから「認証 & プリント」を設定して送信したデータを印刷します。 詳しくは、「ユーザズガイド プリント機能編」をごらんください。</p> <p>目 ひとこと オプションのハードディスクと認証装置を装着し、IC カードによるユーザー認証を導入している場合に利用できます。</p>
〔保存／印刷メニュー〕	<p>プリンタードライバーから「保存」、「保存 & 印刷」、「機密印刷」、「試し印刷」のいずれかを設定して送信したデータを印刷します。 詳しくは、「ユーザズガイド プリント機能編」をごらんください。</p> <p>目 ひとこと オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。</p>
〔メモリーダイレクト〕	<p>USB メモリーに保存されているファイルを指定して印刷します。 詳しくは、「ユーザズガイド プリント機能編」をごらんください。</p> <p>目 ひとこと オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。</p>
〔用紙メニュー〕	<p>印刷に使用する用紙や給紙トレイの設定や、プリンタードライバーから指定がない場合の印刷条件に関する設定をします。 設定内容について詳しくは、2-2 ページをごらんください。</p>
〔レポート出力〕	<p>設定リストやカウンターリストなど、プリント関連リストを印刷します。 設定内容について詳しくは、3-2 ページをごらんください。</p>
〔カウンター〕	<p>本機で印刷したページ数の累計を確認します。 詳しくは、「ユーザズガイド メンテナンス／トラブルシューティング」をごらんください。</p>
〔環境設定〕	<p>本機の操作環境を設定します。 設定内容について詳しくは、4-2 ページをごらんください。</p>
〔管理者設定〕	<p>管理者が設定できる項目です。設定するには、管理者パスワードの入力が必要です。 設定内容について詳しくは、5-2 ページをごらんください。</p>

1.2 [管理者設定] を表示する

管理者設定を表示するには、管理者パスワードの入力が必要です。

- 1 メニュー / 選択を押します。
- 2 [管理者設定] を選びます。
- 3 管理者パスワードを入力します。
→ 管理者パスワードの初期値は「12345678」です。
[管理者設定] 画面が表示されます。設定できる項目は次のとおりです。

設定	説明
[環境設定]	本機の日時、節電機能、セキュリティなど、本機の操作環境を設定します。 設定内容について詳しくは、5-2 ページをごらんください。
[品質メニュー]	印刷画像の画質を調整します。 設定内容について詳しくは、5-10 ページをごらんください。
[エキスパート調整]	本機のネットワーク設定や印刷画像の不具合の補正を行います。 設定内容について詳しくは、5-13 ページをごらんください。
[課金設定]	拡張機能を利用するために必要となるリクエストコードの発行や、拡張機能の有効化を行います。 設定内容について詳しくは、5-20 ページをごらんください。
[ライフ]	消耗品の交換に関する設定をします。 設定内容について詳しくは、5-21 ページをごらんください。



[用紙メニュー]

2 [用紙メニュー]

[給紙トレイ]

表示するには：[用紙メニュー] - [給紙トレイ]

給紙トレイに関する設定をします。

設定	説明
[優先トレイ]	優先して使用する給紙トレイを選びます。 初期値は [トレイ 1] です。 ■ ひとこと [トレイ 2] は、オプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
[手差し]	手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [用紙サイズ]：定形サイズ of 用紙をセットした場合に、セットした用紙のサイズを選びます。 ・ [不定形サイズ]：不定形サイズの用紙をセットした場合に、セットした用紙の幅と長さを入力します。 ・ [用紙種類]：セットした用紙の種類を選びます。
[トレイ 1]	トレイ 1 にセットした用紙のサイズと種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [用紙サイズ]：定形サイズ of 用紙をセットした場合に、セットした用紙のサイズを選びます。 ・ [不定形サイズ]：不定形サイズの用紙をセットした場合に、セットした用紙の幅と長さを入力します。 ・ [用紙種類]：セットした用紙の種類を選びます。
[トレイ 2]	トレイ 2 にセットした用紙のサイズと種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [用紙サイズ]：セットした用紙のサイズを表示します。 ・ [用紙種類]：セットした用紙の種類を選びます。 ■ ひとこと <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 2] は、オプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。 ・ [トレイ 2] には、不定形サイズの用紙をセットできません。

[トレイマッピング]

表示するには：[用紙メニュー] - [トレイマッピング]

他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信した場合、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。

設定	説明
[トレイマッピングモード]	トレイマッピングを有効にするかどうかを選びます。 初期値は [オフ] です。
[論理トレイ 0] ～ [論理トレイ 9]	論理トレイ 0 ～ 9 を物理トレイに割当てます。

[両面]

表示するには：[用紙メニュー] - [両面]

両面印刷を有効にするかどうかを選びます。

プリンタードライバーでの設定が、このメニューの設定よりも優先されます。

初期値は [オフ] です。

〔印刷枚数〕

表示するには：〔用紙メニュー〕 - 〔印刷枚数〕

印刷部数を入力します。

プリンタードライバースでの設定が、このメニューの設定よりも優先されます。

初期値は〔1〕です。

〔部単位印刷〕

表示するには：〔用紙メニュー〕 - 〔部単位印刷〕

複数部を印刷するときに、部単位で排紙位置をずらして、区切りが分かるように排紙するかどうかを選びます。

プリンタードライバースでの設定が、このメニューの設定よりも優先されます。

初期値は〔オフ〕です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

〔開き方向／とじ方向〕

表示するには：〔用紙メニュー〕 - 〔開き方向／とじ方向〕

両面印刷するときの、とじ位置を選びます。

プリンタードライバースでの設定が、このメニューの設定よりも優先されます。

初期値は〔左開き／とじ〕です。

〔印刷の向き〕

表示するには：〔用紙メニュー〕 - 〔印刷の向き〕

印刷する画像の向きを選びます。

プリンタードライバースでの設定が、このメニューの設定よりも優先されます。

初期値は〔ポートレート〕です。

〔小さめ印刷〕

表示するには：〔用紙メニュー〕 - 〔小さめ印刷〕

PDF、PPML、OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルをダイレクト印刷するときに、ページ全体を少し縮小して印刷するかどうかを選びます。

原稿の端の画像が欠けないように印刷したいときに設定します。

初期値は〔オフ〕です。

〔TIFF 画像用紙設定〕

表示するには：〔用紙メニュー〕 - 〔TIFF 画像用紙設定〕

TIFF、JPEG、PDF 形式のファイルをダイレクト印刷するときに使用する用紙の決定方法を設定します。

- 〔自動〕：画像サイズに適合するサイズの用紙に印刷します。
- 〔優先用紙サイズ〕：優先して使用するサイズの用紙に印刷します。

初期値は〔優先用紙サイズ〕です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。



[レポート出力]

3 [レポート出力]

[設定リスト]

表示するには：[レポート出力] - [設定リスト]

本機の情報と設定内容が記載されたリストを印刷します。

[印刷] を選択し、メニュー / 選択を押すと印刷できます。

[統計ページ]

表示するには：[レポート出力] - [統計ページ]

印刷枚数などの統計情報が記載されたリストを印刷します。

[印刷] を選択し、メニュー / 選択を押すと印刷できます。

[フォントリスト]

表示するには：[レポート出力] - [フォントリスト]

設定	説明
[PS フォントリスト]	PostScript フォントリストを印刷します。 [印刷] を選択し、メニュー / 選択を押すと印刷できます。
[PCL フォントリスト]	PCL フォントリストを印刷します。 [印刷] を選択し、メニュー / 選択を押すと印刷できます。

[HDD ディレクトリーリスト]

表示するには：[レポート出力] - [HDD ディレクトリーリスト]

HDD のディレクトリーの一覧を印刷します。

[印刷] を選択し、メニュー / 選択を押すと印刷できます。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[カウンターリスト]

表示するには：[レポート出力] - [カウンターリスト]

カウンター情報が記載されたリストを印刷します。

[印刷] を選択し、メニュー / 選択を押すと印刷できます。

4

[環境設定]

4 [環境設定]

[言語切替え]

表示するには：[環境設定] - [言語切替え]

メッセージウィンドウの表示言語を選びます。

初期値は [日本語] です。

[単位系設定]

表示するには：[環境設定] - [単位系設定]

メッセージウィンドウに表示する数値の単位系を [ミリメートル] または [インチ] から選びます。

初期値は [ミリメートル] です。

[給紙トレイ]

表示するには：[環境設定] - [給紙トレイ]

給紙トレイの選択や切換えに関する設定をします。

設定	説明
[自動選択トレイ]	自動選択の対象とする給紙トレイを選びます。[オン] に設定したトレイの中から、最適な用紙がセットされたトレイを自動的に使います。 初期値はすべて [オン] です。
[自動トレイ切替え]	印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、同じサイズ、同じ方向、同じ種類の用紙がセットされている給紙トレイへの自動切換え（ATS：オートトレイスイッチ）を有効にするかどうかを選びます。 ただし、ATSの対象となる給紙トレイは、[自動選択トレイ] で選択されている給紙トレイとなります。 初期値は [オン] です。

[OOXML 印刷設定]

表示するには：[環境設定] - [OOXML 印刷設定]

OOXML（docx、xlsx、pptx）ファイルをダイレクト印刷するときの、印刷設定の初期値を設定します。

設定	説明
[OOXML 印刷モード]	OOXML（docx、xlsx、pptx）ファイルをダイレクト印刷するときに、画質を優先するか、速度を優先するかを選びます。 初期値は [速度優先] です。
[シート / ブック印刷]	Excel ファイルを印刷するときに、現在選んでいるシートを印刷するか、ブック全体を印刷するかを選びます。 初期値は [現在のシート] です。
[用紙設定]	OOXML（docx、xlsx、pptx）ファイルを印刷する用紙のサイズを選びます。 初期値は [A4] です。
[用紙種類]	OOXML（docx、xlsx、pptx）ファイルを印刷する用紙の種類を選びます。 初期値は [普通紙] です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。



[管理者設定]

5 [管理者設定]

5.1 [環境設定]

5.1.1 [エミュレーション]

[優先エミュレーション]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [エミュレーション] - [優先エミュレーション]

ページ記述言語 (Page Description Language) を選びます。[自動] を選ぶと、PCL と PS を自動で切替えます。

初期値は [自動] です。

[ポストスクリプト]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [エミュレーション] - [ポストスクリプト]

PS 印刷に関する設定をします。

設定	説明
[ウェイトタイムアウト]	PS エラーと判断してタイムアウトするまでの時間を設定します。 [0] を選ぶと、タイムアウトしません。 初期値は [0] です。
[PS エラーページ]	PS のラスタイズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印刷するかどうかを選びます。 初期値は [オフ] です。
[PS プロトコル]	PS データの通信で使用するプロトコルを選びます。 [自動] を選ぶと、適切なプロトコルを PS プリントジョブから自動的に決定します。 初期値は [自動] です。
[自動トラッピング]	自動トラッピングを有効にするかどうかを選びます。 自動トラッピングを有効にすると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色を重ねて印刷します。 初期値は [オフ] です。
[ブラックオーバープリント]	ブラックオーバープリントを有効にするかどうかを選びます。 ブラックオーバープリントを有効にすると、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色に黒を重ねて印刷します。 ・ [テキストとグラフィック]：文字部分と図形部分の両方で、隣合う色に黒を重ねて印刷します。 ・ [テキスト]：文字部分のみ隣合う色に黒を重ねて印刷します。 初期値は [オフ] です。

[PCL]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [エミュレーション] - [PCL]

PCL 印刷に関する設定をします。

設定	説明
[改行コード]	テキストデータを印刷するとき、改行コードを置換えるかどうかを選びます。改行コードを置換える場合は、置換え方法を選びます。初期値は [CR=CR LF=LF] です。
[フォームライン]	テキストデータを印刷するときの、1 ページに印刷するライン数を入力します。初期値は [60] です。
[フォントソース]	PCL で使用するフォントに関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [フォント番号]：デフォルトフォントを設定します。表示されるフォント番号は PCL フォントリストに対応しています。初期値は [0] です。 ・ [ピッチサイズ]：フォントのピッチサイズを設定します。初期値は [10.00] です。 ・ [ポイントサイズ]：フォントのポイントサイズを設定します。初期値は [12.00] です。 ・ [シンボルセット]：使用するフォントシンボルセットを選びます。初期値は [PC8] です。

[XPS]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [エミュレーション] - [XPS]

XPS ファイルをダイレクト印刷するときに、デジタル署名の検証や、エラー情報の印刷を行うかどうかを設定します。

設定	説明
[電子署名]	デジタル署名が付加された XPS ファイルを印刷するときに、デジタル署名を検証するかどうかを選びます。[オン] を選ぶと、署名が無効なときは印刷しません。初期値は [オフ] です。
[XPS エラーページ]	XPS ファイルの印刷中にエラーが発生した場合、エラー情報を印刷するかどうかを選びます。初期値は [印刷する] です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[レイアウト - ページ割付け]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [エミュレーション] - [レイアウト - ページ割付け]

ダイレクト印刷するときの、ページ割付設定の初期値を設定します。

設定	説明
[ページ集約]	複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷するかどうかを選びます。初期値は [オフ] です。
[行]	1 枚の用紙の横方向に割付けるページ数を入力します。初期値は [1] です。
[列]	1 枚の用紙の縦方向に割付けるページ数を入力します。初期値は [1] です。
[集約順]	ページの配置のしかたを選びます。初期値は [横順] です。
[集約方向]	ページを配置する方向を選びます。初期値は [左上から右下] です。

設定	説明
[レイアウト設定]	<p>レイアウトに関する詳細な設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ページ間隔 - 行方向] : 行方向のページの間隔を設定します。初期値は [0 mm] です。 ・ [ページ間隔 - 列方向] : 列方向のページの間隔を設定します。初期値は [0 mm] です。 ・ [ページ余白 - 上余白] : ページ上部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。 ・ [ページ余白 - 下余白] : ページ下部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。 ・ [ページ余白 - 左余白] : ページ左部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。 ・ [ページ余白 - 右余白] : ページ右部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。 ・ [ページ倍率] : 倍率を自動設定するか、任意の倍率を指定するかを選びます。初期値は [自動] です。 ・ [ページ倍率 - 手動] : 任意の倍率を指定してページを拡大または縮小します。初期値は [100] です。 ・ [ページ枠] : ページ間に境界線を印字するかどうかを選びます。初期値は [オフ] です。

[バーコードフォント設定]

表示するには : [管理者設定] - [環境設定] - [エミュレーション] - [バーコードフォント設定]

バーコードフォントに関する設定をします。

設定	説明
[線幅]	<p>バーコードフォントの線幅を設定します。 初期値は [0] です。</p>
[スペース幅]	<p>バーコードフォントのスペース幅を設定します。 初期値は [0] です。</p>

5.1.2 [用紙設定]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [用紙設定]

通常使用する用紙のサイズ、種類、単位を設定します。

設定	説明
[用紙サイズ]	通常使用する用紙のサイズを選びます。 初期値は [A4] です。
[不定形サイズ]	不定形サイズの用紙を使用する場合に、セットした用紙の幅と長さを入力します。
[用紙種類]	通常使用する用紙の種類を選びます。 初期値は [普通紙] です。
[単位系設定]	単位系を [ミリメートル] または [インチ] から選びます。 初期値は [ミリメートル] です。
[レターヘッド両面印刷]	レターヘッド紙への両面印刷を許可するかどうかを選びます。 初期値は [禁止] です。



参考

[レターヘッド両面印刷] で、レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、用紙種類が普通紙のレターヘッド紙を使用してください。また、レターヘッド紙を以下のようにトレイにセットしてください。

- **トレイ 1** にレターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を下向きにセットしてください。
- **手差しトレイ** にレターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を上向きにセットしてください。

5.1.3 [モノクロページ]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [モノクロページ]

カラー指定されたプリントジョブの中にあるモノクロページの印刷方法を選びます。

- [自動]：プリントジョブの先頭ページから自動判別します。
- [モノクロ印刷]：モノクロページはモノクロで印刷します。
- [カラー印刷]：モノクロページでもカラーで印刷します。

初期値は [自動] です。

5.1.4 [スタートページ]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [スタートページ]

本機の電源を入れたときに、スタートページを印刷するかどうかを選びます。

初期値は [オフ] です。

5.1.5 [自動継続]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [自動継続]

プリントジョブの用紙サイズおよび用紙種類と、給紙トレイの用紙サイズおよび用紙種類とが異なる場合に、印刷を継続するかどうかを選びます。

初期値は [オフ] です。

5.1.6 [保存ジョブタイムアウト]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [保存ジョブタイムアウト]

HDD 内にプリントジョブを保持する時間を設定します。

- [1 時間] / [4 時間] / [1 日] / [1 週間] から選びます。
- プリントジョブを保持しない場合は、[保持しない] を選びます。

初期値は [保持しない] です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

5.1.7 [電源 / パワーセーブ設定]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定]

スリープモードの動作を設定します。

設定	説明
[スリープ中の消費電力]	スリープモード中の消費電力を抑制するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [抑制する]：スリープモード中の消費電力をさらに抑制します。通常は [抑制する] を選びます。 • [抑制しない]：[抑制する] に設定していて、ネットワーク接続時の応答が悪いなどのトラブルがあった場合に選びます。 初期値は [抑制する] です。
[節電設定]	本機を操作しなくなってから、スリープモードに自動的に移行するまでの時間を変更します。 初期値は [1] 分です。
[パワーセーブ移行]	パワーセーブモード中に、本機がコンピューターからの印刷ジョブを受信したとき、印刷後にパワーセーブモードに切替えるタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [通常]：[節電設定] の設定時間で切替えます。 • [即時]：印刷後にすぐにパワーセーブモードに切替えます。 初期値は [即時] です。

5.1.8 [ウィークリータイマー設定]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [ウィークリータイマー設定]

ウィークリータイマーを使って、自動で節電モードと通常モードを切替えるかどうかを選びます。ウィークリータイマーを使う場合は、節電モードと通常モードを切替えるスケジュールを設定します。

設定	説明
[使用設定]	ウィークリータイマーを使うかどうかを選びます。 初期値は [しない] です。
[タイマー予約時刻設定]	節電モードに切替える時刻 ([オフ時刻設定]) と、通常モードに復帰する時刻 ([オン時刻設定]) を曜日ごとに指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [一括設定]：すべての曜日の [オフ時刻設定] と [オン時刻設定] を一括で設定します。[オフ時刻設定] と [オン時刻設定] を設定したあと、[一括セット / クリア] - [セット] を選びます。 • [日曜日] ~ [土曜日]：選択した曜日の [オフ時刻設定] と [オン時刻設定] を設定します。[オフ時刻設定] と [オン時刻設定] を設定したあと、[個別セット / クリア] - [セット] を選びます。

5.1.9 [セキュリティ設定]

[管理者パスワード]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [セキュリティ設定] - [管理者パスワード]

必要に応じて、本機の管理者パスワードを変更します。変更したパスワードは、忘れないように大切に管理してください。

現在の管理者パスワードを入力したあと、新しい管理者パスワードを設定します。

初期値は「12345678」です。



参考

管理者パスワードの入力を設定された回数間違えると、本機の操作が禁止されます。この場合は、本機の電源を ON/OFF してください。

[セキュリティ詳細]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [セキュリティ設定] - [セキュリティ詳細]

本機のセキュリティに関する詳細な設定をします。

設定	説明
[ジョブログ設定]	ジョブログの種類ごとに、ログ情報を取得するかどうかを選びます。
[課金ログ]	課金ログを取得するかどうかを選びます。ユーザーや部門ごとに、用紙の使用量に関する情報を取得できます。 初期値は「オン」です。
[集計ログ]	集計ログを取得するかどうかを選びます。用紙の使用量や、用紙をどれだけ削減して印刷しているかなどの情報を取得できます。 初期値は「オン」です。
[監査ログ]	監査ログを取得するかどうかを選びます。ユーザーの操作やジョブ履歴を取得できます。不正行為や情報の漏洩を、後から追跡できます。 初期値は「オン」です。
[上書き]	ハードディスクの使用領域がいっぱいになり、新しいログを保存できないとき、ログの上書きを許可するかどうかを選びます。 初期値は「禁止」です。
[ジョブログ消去]	ジョブログを消去します。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[HDD 管理設定]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [セキュリティ設定] - [HDD 管理設定]

本機の HDD を管理します。

設定	説明
[全領域上書き削除]	<p>本機を廃棄するときなどに、HDD の全領域に保存されているすべてのデータを上書き削除します。</p> <p>上書き削除を実行するときは、[HDD 上書き削除方式] でモードを選んでから、[実行] を選びます。</p> <p>[HDD 上書き削除方式] で選択できるモードは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [モード 1]：0x00 で上書き ・ [モード 2]：1 バイトの乱数で上書き -1 バイトの乱数で上書き -0x00 で上書き ・ [モード 3]：0x00 で上書き -0xff で上書き -1 バイトの乱数で上書き - 検証 ・ [モード 4]：1 バイトの乱数で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き ・ [モード 5]：0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き ・ [モード 6]：0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き - 乱数で上書き ・ [モード 7]：0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0xaa で上書き ・ [モード 8]：0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0xaa で上書き - 検証 <p>初期値は [モード 1] です。</p>
[HDD フォーマット]	<p>HDD をフォーマットします。</p> <p>あらかじめ、必要なデータをハードディスクから取出しておいてください。</p>



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[HDD 暗号化]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [セキュリティ設定] - [HDD 暗号化]

HDD に保存されているすべてのデータを暗号化し、HDD 内のデータを保護します。

[オン] を選ぶと、HDD のフォーマットが行われることを通知するメッセージが表示されます。HDD 内のデータを暗号化する場合は、**メニュー / 選択** を押し、暗号化に使用する暗号化ワードを入力します（半角 20 文字、大文字と小文字は区別する）。

暗号化ワードを入力すると、本機が再起動し、HDD のフォーマットが行われます。

初期値は [オフ] です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

5.1.10 [日付 / 時刻設定]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]

本機の日時とタイムゾーンを手動で設定します。

設定	説明
[日付]	現在の日付を入力します。
[時刻]	現在の時刻を入力します。
[タイムゾーン]	<p>NTP サーバーを利用して本機の時刻を自動で調整する場合に、UTC（協定世界時）との時差を 30 分単位で設定します。</p> <p>初期値は [00:00] です。</p>

5.1.11 [サマータイム設定]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [サマータイム設定]

サマータイムを適用する場合は、サマータイム時間を指定します。

設定	説明
[サマータイム設定]	本機にサマータイムを適用するかどうかを選びます。 初期値は[オフ]です。
[オフセット]	サマータイム設定が[オン]の場合に、サマータイムとして進める時間を入力します。 初期値は[60]分です。

5.1.12 [イニシャライズ]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [イニシャライズ]

[ネットワーク]、[用紙 / 品質 / システム]、[全てのメニュー] を選んで初期化を実行します。

5.1.13 [ワーニング検出]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [ワーニング検出]

トレイに用紙がなくなったときに警告メッセージを表示するかどうかを、トレイごとに設定します。

初期値は以下のとおりです。

- [トレイ 1] ~ [トレイ 2]：[オン]
- [手差し]：[オフ]

5.1.14 [メニュータイムアウト]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [メニュータイムアウト]

メッセージウィンドウにメニュー、ヘルプ画面を表示した状態で何も操作が行なわれなかった場合に、ステータス画面に戻るまでの時間を設定します。

初期値は[2分]です。

5.1.15 [リスト / カウンター]

表示するには：[管理者設定] - [環境設定] - [リスト / カウンター]

カウンター情報が記載されたリストを印刷します。

設定	説明
[使用管理カウンターリスト]	カウンター情報が記載されたリストを印刷します。ユーザー認証／部門管理を導入している場合は、各ユーザー／各部門のカウンター情報が記載されます。

5.2 [品質メニュー]

[カラーモード]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [カラーモード]

カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかを選びます。

初期値は[カラー]です。

[明度]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [明度]

印刷画像の明るさを調整します。

初期値は[0%]です。

[ハーフトーン]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [ハーフトーン]

[イメージ印刷]、[テキスト印刷]、[グラフィックス印刷] のカテゴリごとに、ハーフトーンの処理方法を選びます。

- [ラインアート]：高精密に中間色を再現します。
- [詳細]：詳細に中間色を再現します。
- [スムージング]：なめらかに中間色を再現します。

初期値は以下のとおりです。

- [イメージ印刷]：[詳細]
- [テキスト印刷]：[ラインアート]
- [グラフィックス印刷]：[詳細]

[エッジ強調]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [エッジ強調]

[イメージ印刷]、[テキスト印刷]、[グラフィックス印刷] のカテゴリごとに、エッジ部分を強調するかどうかを選びます。

初期値は以下のとおりです。

- [イメージ印刷]：[オフ]
- [テキスト印刷]：[オン]
- [グラフィックス印刷]：[オン]

[エッジ強度]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [エッジ強度]

エッジ部分を強調する場合に、エッジ部分を強調する度合いを選びます。

初期値は[中]です。

[エコノミー印刷]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [エコノミー印刷]

印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約した印刷を行うかどうかを選びます。

初期値は[オフ]です。

[PCL 印刷設定]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [PCL 印刷設定]

PCL 印刷の画質を調整します。

設定	説明
[コントラスト]	印刷画像のコントラストを調整します。 初期値は [0%] です。
[イメージ印刷]	RGB のイメージデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [RGB ソース]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 • [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への変換特性を指定します。初期値は [写真調] です。 • [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=グレー=CMYK] です。
[テキスト印刷]	RGB の文字データの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [RGB ソース]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 • [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 • [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=K グレー=K] です。
[グラフィックス印刷]	RGB のグラフィックデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [RGB ソース]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 • [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 • [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=K グレー=K] です。

[PS 印刷設定]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定]

PS 印刷の画質を調整します。

設定	説明
[イメージ印刷]	RGB のイメージデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [RGB カラー]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 • [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への変換特性を指定します。初期値は [写真調] です。 • [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=グレー=CMYK] です。 • [登録プロファイル]：出力プロファイルを指定します。本機へのプロファイルの登録は、Web Connection から行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をご覧ください。初期値は [自動] です。
[テキスト印刷]	RGB の文字データの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [RGB カラー]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 • [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 • [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=K グレー=K] です。 • [登録プロファイル]：出力プロファイルを指定します。本機へのプロファイルの登録は、Web Connection から行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をご覧ください。初期値は [自動] です。

設定	説明
[グラフィックス印刷]	<p>RGB のグラフィックデータの処理方法を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [RGB カラー]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 ・ [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 ・ [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=K グレー=K] です。 ・ [登録プロファイル]：出力プロファイルを指定します。本機へのプロファイルの登録は、Web Connection から行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をご覧ください。初期値は [自動] です。
[シミュレーション]	<p>シミュレーションに関する設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [シミュレーションプロファイル]：入力 CMYK のシミュレーションプロファイルを選びます。初期値は [なし] です。 ・ [シミュレーション特性]：シミュレーションを実施するときの変換特性を指定します。初期値は [相対色] です。 ・ [CMYK グレー再現]：シミュレーションを実施するときの CMYK 入力データにおける K 版の印刷方法を指定します。初期値は [ブラック=CMYK] です。

[階調補正]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [階調補正]

印刷画像の色の再現が悪くなったときに、色階調を調整します。

設定	説明
[濃度補正]	<p>濃度補正を有効にするかどうかを選びます。</p> <p>初期値は [オン] です。</p>
[CMYK 濃度調整]	<p>各色のハイライト部、中間部、シャドウ部の濃度を調整します。</p> <p>初期値はすべて [0] です。</p>
[AIDC モード]	<p>AIDC モードを選びます。</p> <p>初期値は [モード 2] です。</p>
[画像安定化]	<p>本機内部の読取り部分のずれや傾きなどを補正します。</p> <p>[600dpi] または [1200dpi] を選択し、メニュー / 選択を押すと画像安定化処理が実行されます。</p>
[TE Clear]	<p>通常は使用しません。必要な場合は、サービス実施店の指示に従って操作します。</p>

[色分解]

表示するには：[管理者設定] - [品質メニュー] - [色分解]

色分解を有効にするかどうかを選びます。色分解を有効にすると、1 ページを CMYK の色要素に分割して黒で 4 ページ印刷します。

初期値は [オフ] です。

5.3 [エキスパート調整]

5.3.1 [印刷メニュー]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [印刷メニュー]

ハーフトーンパターンを印刷します。

設定	説明
[スクリーン 64]	濃度 25%のハーフトーンパターンを各色ごとに印刷します。
[スクリーン 128]	濃度 50%のハーフトーンパターンを各色ごとに印刷します。
[スクリーン 256]	濃度 100%のハーフトーンパターンを各色ごとに印刷します。
[グラデーション]	グラデーションパターンを印刷します。

5.3.2 [調整]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [調整]

印刷開始位置や印刷画像の不良を調整します。

設定	説明
[上調整]	印刷位置の調整を行う用紙の種類（普通紙、厚紙、厚紙 2、封筒）を選びます。用紙を排紙する方向に対して、用紙先端の印刷を開始する位置を用紙の種類ごとに調整します。
[両面印刷位置：先端]	印刷位置の調整を行う用紙の種類（普通紙、厚紙、厚紙 2）を選びます。両面印刷の裏面を印刷するときに、用紙を排紙する方向に対して、用紙裏面の先端の印刷を開始する位置を用紙の種類ごとに調整します。
[左調整]	印刷位置の調整を行う給紙トレイを選びます。用紙を排紙する方向に対して、用紙左端の印刷を開始する位置を、給紙トレイごとに調整します。
[左調整 両面]	印刷位置の調整を行う給紙トレイを選びます。両面印刷の裏面を印刷するときに、用紙を排紙する方向に対して、用紙左端の印刷を開始する位置を、給紙トレイごとに調整します。
[メディア調整]	用紙種類の特性により、印刷画像に不良（白抜け、白斑点、ザラツキ）が発生した場合に、用紙の種類ごとに不良を調整します。 ・ [1 面目]：片面印刷または両面印刷の表面に画像不良がある場合に選びます。不良を調整する用紙の種類を選び、調整を行います。 ・ [2 面目]：両面印刷の裏面に画像不良がある場合に選びます。不良を調整する用紙の種類を選び、調整を行います。 設定後に印刷を行い、必要に応じて調整を繰り返してください。

5.3.3 [イーサネット]

[TCP/IP]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [TCP/IP]

TCP/IP 環境に接続して使うための設定をします。

設定	説明
[有効]	TCP/IP を使うかどうかを選びます。 初期値は [オン] です。
[IPv4 設定]	本機に IP アドレス (IPv4) を割当てます。
[IP アドレス]	IP アドレスを手動設定する場合に、固定の IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	IP アドレスを手動設定する場合に、サブネットマスクを入力します。
[ゲートウェイ]	IP アドレスを手動設定する場合に、デフォルトゲートウェイを入力します。
[IP アプリケーション]	IP アドレスを自動設定する場合に、自動取得の方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [DHCP]：初期値は [オン] です。 ・ [BOOTP]：初期値は [オフ] です。 ・ [ARP/PING]：初期値は [オフ] です。 ・ [AUTO IP 設定]：[有効] 固定です。
[HTTP]	本機を HTTP サーバーとして使うかどうかを選びます。 [無効] を選ぶと、 Web Connection が利用できなくなります。 初期値は [有効] です。
[BONJOUR]	Mac OS 環境でお使いの場合に、Bonjour を使うかどうかを設定します。 本機で Bonjour を有効にすると、コンピューターが、ネットワークに接続された本機を自動的に検出し、追加可能なプリンターとして一覧表示します。 初期値は [有効] です。
[DNS ホスト]	DNS サーバーをお使いの場合に、DNS に関する設定をします。
[ダイナミック DNS]	Dynamic DNS 機能を有効にするかどうかを選びます。 お使いの DNS サーバーが Dynamic DNS 機能をサポートしている場合に [有効] を選ぶと、設定したホスト名を DNS サーバーに自動で登録したり、変更内容を自動で更新したりできます。 初期値は [無効] です。
[IPP]	IPP を使うかどうかを選びます。 初期値は [有効] です。
[RAW ポート]	Port9100 印刷で使う RAW ポートの設定をします。
[有効]	RAW ポートを使うかどうかを選びます。 初期値は [はい] です。
[双方向]	RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [オフ] です。
[SLP]	SLP (Service Location Protocol) を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [有効] です。
[SMTP]	本機から E-mail を送信するかどうかを選びます。 初期値は [有効] です。
[SNMP]	SNMP (Simple Network Management Protocol) を使うかどうかを設定します。 初期値は [使用する] です。
[WSD 印刷]	WS 印刷機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [使用する] です。
[IPSEC]	IPsec を使うかどうかを設定します。 IPsec の詳細な設定は、 Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。 初期値は [使用しない] です。 <div> <div></div> <div> <h3>ひとこと</h3> <p>オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。</p> </div> </div>

設定	説明
[IP アドレスフィルター]	本機へのアクセスを許可する IP アドレスと、拒否する IP アドレスを指定します。
[アクセス許可]	本機へのアクセスを許可する IP アドレスを指定してアクセス制限を行うかどうかを選びます。 IP アドレスの指定は、 Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。 初期値は [無効] です。
[アクセス拒否]	本機へのアクセスを拒否する IP アドレスを指定してアクセス制限を行うかどうかを選びます。 IP アドレスの指定は、 Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。 初期値は [無効] です。
[IPv6]	本機に IP アドレス (IPv6) を割当てます。
[有効]	IPv6 を使うかどうかを選びます。 初期値は [オン] です。
[自動設定]	本機の IPv6 グローバルアドレスを自動で割当てかどうかを選びます。 [使用する] を選ぶと、ルーターから通知されるプレフィックス長と本機の MAC アドレスから、IPv6 グローバルアドレスを自動で割当てます。 初期値は [使用する] です。
[リンクローカルアドレス]	本機の MAC アドレスから自動的に設定されたリンクローカルアドレスを表示します。
[グローバルアドレス]	IPv6 アドレスを手動設定する場合に、IPv6 グローバルアドレスを入力します。
[ゲートウェイ]	IPv6 アドレスを手動設定する場合に、ゲートウェイアドレスを入力します。

[SPEED/DUPLEX]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [SPEED/DUPLEX]

お使いの環境に合わせて、ネットワークの速度を選びます。

初期値は [自動] です。

[IEEE802.1X]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [IEEE802.1X]

IEEE802.1X 認証を使うかどうかを選びます。

IEEE802.1X 認証の詳細な設定は、**Web Connection**で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

初期値は [使用しない] です。

[AirPrint 設定]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [AirPrint 設定]

AirPrint 対応端末から印刷するための設定をします。

設定	説明
[使用設定]	AirPrint を使うかどうかを選びます。 AirPrint の印刷ジョブを受信する場合は、[使用する] を選択します。 初期値は [使用しない] です。
[タイムアウト]	通信のタイムアウト時間を入力します。 初期値は [60] 秒です。



参考

AirPrint 機能を有効にしたあと、以下のいずれかの機能を無効に変更すると、連動して AirPrint 機能も無効となります。

- [管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [TCP/IP] - [HTTP]
- [管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [TCP/IP] - [IPP]
- [管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [TCP/IP] - [BONJOUR]
- Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [IPP 設定] - [IPP ジョブの受信]



参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- AirPrint 機能を有効にしている場合、ネットワーク接続時の応答を維持するため、[スリープ中の消費電力] を [抑制する] に設定したスリープモードの節電状態、および、それよりさらに消費電力を抑制した節電状態へ移行しません。AirPrint 機能を有効にしている場合、[スリープ中の消費電力] を [抑制しない] に設定したスリープモードの節電状態が、最も消費電力を抑制した節電状態となります。

[拡張ネットワーク設定]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [拡張ネットワーク設定]

本機を無線ネットワーク環境に接続して使うための設定をします。

設定	説明
[ネットワークインタフェース構成]	本機をネットワーク接続するときの動作モードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [有線のみ]：本機を有線 LAN 環境に接続して使用する場合に選びます。 • [無線（子機モード）]：本機を無線 LAN アクセスポイントの子機として使用する場合に選びます。 • [無線（親機モード）]：本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用する場合に選びます。本機を有線 LAN 環境に接続し、無線接続と併用することもできます。 • [無線（Wi-Fi Direct）]：本機を無線 LAN Direct のグループオーナーとして使用する場合に選びます。 初期値は [有線のみ] です。
[AP モード設定]	[ネットワークインタフェース構成] で [無線（親機モード）] または [無線（Wi-Fi Direct）] を選んだ場合に、本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用するための設定をします。
[SSID]	本機の SSID を入力します（32 文字以内）。 [ネットワークインタフェース構成] で [無線（親機モード）] を選んだ場合は、アクセスポイントの SSID となります。 [ネットワークインタフェース構成] で [無線（Wi-Fi Direct）] を選んだ場合は、Wi-Fi Direct 接続用の SSID となります。Wi-Fi Direct に対応した端末の Wi-Fi Direct（設定）画面には、ここで設定した SSID が表示されます。Wi-Fi Direct（設定）画面から SSID を指定して本機に接続できない場合は、Wi-Fi（設定）画面から [仮想 SSID] を指定して接続してください。

設定	説明
[暗号化アルゴリズム]	<p>認証または暗号化に使用するアルゴリズムに関する設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [アルゴリズム選択]: 認証または暗号化に使用するアルゴリズムを選びます。初期値は「認証・暗号化なし」です。 ・ [WEP キー設定]: [アルゴリズム選択] で [WEP] を選んだ場合に、WEP キーの設定を行います。 [キー入力方式]: WEP キーの入力方法を選びます。 [使用キー設定]: WEP キーを入力します。複数の WEP キーを登録した場合は、どのキーを使用するかを選びます。 ・ [パスフレーズ設定]: [アルゴリズム選択] で [WEP] 以外のアルゴリズムを選んだ場合に、パスフレーズの設定を行います。 [キー入力方式]: パスフレーズの入力方法を選びます。 [パスフレーズ]: パスフレーズを入力します。 [パスフレーズ自動更新]: パスフレーズを自動的に更新するかどうかを設定します。初期値は「する」です。 [更新間隔]: パスフレーズの更新間隔を指定します。初期値は「60 分」です。
[20/40MHz 自動切換]	<p>40MHz を使用して高速通信を試みる場合は「使用する」を選びます。初期値は「使用しない」です。</p>
[無線チャンネル設定]	<p>無線 LAN のチャンネルを設定します。初期値は「自動」です。</p>
[ANY 接続]	<p>ANY 接続を許可するかどうかを選びます。 [ネットワークインタフェース構成] で [無線 (親機モード)] を選んだ場合に表示されます。初期値は「許可」です。</p>
[MAC アドレスフィルタリング]	<p>アクセスポイントに接続できる無線子機を MAC アドレスで制限します。アクセスポイントに接続できる無線子機の MAC アドレスを入力します。最大 16 台の機器の MAC アドレスを登録できます。 [ネットワークインタフェース構成] で [無線 (親機モード)] を選んだ場合に表示されます。</p>
[DHCP サーバー設定]	<p>DHCP サーバー機能を使用するための設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [使用設定]: DHCP サーバー機能を有効にするかしないかを選択します。初期値は「有効」です。 ・ [IPv4 リースアドレス]: [使用設定] で [有効] を選んだ場合に、DHCP サーバーがリースする IPv4 アドレスの範囲を設定します。 ・ [サブネットマスク]: [使用設定] で [有効] を選んだ場合に、サブネットマスクを入力します。 ・ [リース期間]: [使用設定] で [有効] を選んだ場合に、リースする期間を指定します。初期値は「4294967295」秒です。
[同時接続台数設定]	<p>アクセスポイントへの同時接続台数を入力します。初期値は「5」台です。</p>
[電波強度設定]	<p>アクセスポイントの電波強度を 3 段階（[弱い]、[中]、[強い]）から選びます。初期値は「強い」です。</p>
[接続子機表示]	<p>アクセスポイントに接続している無線子機の MAC アドレスの一覧を表示します。</p>
[仮想 SSID]	<p>[ネットワークインタフェース構成] で [無線 (Wi-Fi Direct)] を選んだ場合に、自動生成された仮想 SSID が表示されます。 Wi-Fi Direct に未対応の端末を本機に接続する場合に利用します。Wi-Fi Direct に未対応の端末の Wi-Fi (設定) 画面には、仮想 SSID が表示されず。仮想 SSID は、「DIRECT-XXXXXX」(XXXXXX はランダムな英数字と [SSID] の設定値の組合せ) で表示されます。</p>
[TCP/IP] - [IPv4 設定]	<p>本機で IPv4 を使用して無線ネットワークに接続する場合に、IPv4 の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [IP アドレス]: 本機に用意した固定 IP アドレスを入力します。 ・ [サブネットマスク]: サブネットマスクを入力します。
[TCP/IP] - [IPv6]	<p>本機で IPv6 を使用して無線ネットワークに接続する場合に、IPv6 の設定を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [リンクローカルアドレス]: リンクローカルアドレスを表示します。リンクローカルアドレスは、本機の MAC アドレスから自動的に設定されます。

設定	説明
[無線子機設定]	[ネットワークインタフェース構成] で [無線 (子機モード)] を選んだ場合に、本機を無線子機として使用するための設定をします。
[簡易設定 (WPS)]	<p>接続に必要な情報をアクセスポイントから自動的に取得するための設定をします。</p> <p>アクセスポイントが WPS 機能に対応している必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プッシュボタン方式]: [プッシュボタン方式] を選ぶと、アクセスポイントへの接続を試みます。アクセスポイントで WPS 設定用のボタンを押すと、SSID やセキュリティなど、接続に必要な設定を自動的に行います。 ・ [PIN 方式]: [PIN 方式] を選ぶと、PIN コードが表示されます。表示された PIN コードをアクセスポイントで入力すると、SSID やセキュリティなど、接続に必要な設定を自動的に行います。
[手動設定]	<p>認証または暗号化に使用するアルゴリズムに関する設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [SSID]: 本機が接続する無線 LAN アクセスポイントの SSID を入力します (32 文字以内)。 ・ [アクセスポイント一覧]: 検出した無線 LAN アクセスポイントの一覧を表示します。 ・ [暗号化アルゴリズム]: 認証または暗号化に使用するアルゴリズムを選びます。 <p>[アルゴリズム選択]: 認証または暗号化に使用するアルゴリズムを選びます。</p> <p>[WEP キー設定]: [アルゴリズム選択] で [WEP] を選んだ場合に、WEP キーの設定を行います。</p> <p>[キー入力方式]: WEP キーの入力方法を選びます。</p> <p>[使用キー設定]: WEP キーを入力します。複数の WEP キーを登録した場合は、どのキーを使用するかを選びます。</p> <p>[パスフレーズ設定]: [アルゴリズム選択] で [WEP]、[802.1X] 以外のアルゴリズムを選んだ場合に、パスフレーズの設定を行います。</p> <p>[キー入力方式]: パスフレーズの入力方法を選びます。</p> <p>[パスフレーズ]: パスフレーズを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [20/40MHz 自動切換]: 40MHz を使用して高速通信を試みる場合は [使用する] を選びます。初期値は [使用しない] です。
[接続状態]	本機が接続しているアクセスポイントの確認や、アクセスポイントの電波強度、現在の通信速度などを確認できます。

参考

- ・ [拡張ネットワーク設定] を表示するには、オプションのネットワークカードと取付けキットが必要です。
- ・ 本機を無線子機として使用する場合、有線ネットワークは使用できません。
- ・ 本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用する場合、本機と通信できる機器は、コンピュータとモバイル端末のみです。また、本機に同時に接続できる機器の台数は、5 台までです。
- ・ 本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用する際の無線ネットワークのネットワークアドレスは、基幹ネットワークのネットワークアドレスとは異なるネットワークアドレスを設定してください。同じネットワークアドレスを設定すると、本機から基幹ネットワークへの送信ができなくなります。

5.3.4 [文書印刷]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [文書印刷]

USB メモリーからのファイルの印刷を許可するかどうかを選びます。

初期値は [有効] です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

5.3.5 [管理者発信]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [管理者発信]

本機の状態を遠隔から診断するサービスをご利用の場合は、本機の使用状況を遠隔診断システムに送信します。

5.3.6 [細線調整]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [細線調整]

常電ローラーへの印加電圧（VC）を変化させることで、細線の再現性を調整します。

初期値は [0] です。

5.3.7 [モノクロ画像調整]

表示するには：[管理者設定] - [エキスパート調整] - [モノクロ画像調整]

モノクロで印字される画像の濃度を調整します。数値が大きいほど濃度が濃くなります。

初期値は [0] です。

5.4 [課金設定]

5.4.1 [ライセンス管理]

[リクエストコード発行]

表示するには：[管理者設定] - [課金設定] - [ライセンス管理] - [リクエストコード発行]

本機のシリアルナンバーとリクエストコードを表示します。

設定	説明
[リクエストコード]	ライセンス管理サーバー (LMS) に登録する、本機のリクエストコードを発行します。
[シリアル No]	本機のシリアル番号を表示します。
[印刷]	リクエストコードとシリアル番号を印刷します。

[有効化]

表示するには：[管理者設定] - [課金設定] - [ライセンス管理] - [有効化]

拡張機能を識別するための機能コードと、拡張機能を有効化するためのライセンスコードを入力して、拡張機能を有効化します。

設定	説明
[機能コード]	機能コードを入力します。
[ライセンスコード]	ライセンスコードを入力します。
[実行]	入力した機能コードとライセンスコードで、拡張機能を有効化します。

5.5 [ライフ]

5.5.1 [交換]

表示するには：[管理者設定] - [ライフ] - [交換]

消耗品の交換に関する設定をします。

設定	説明
[定着ユニット]	定着ユニットのカウンターをリセットします。
[転写ベルト]	転写ベルトのカウンターをリセットします。
[転写ローラー]	転写ローラーのカウンターをリセットします。



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
製造元
コニカミノルタ株式会社